

第 160 号

Super Highway

春闘速報 8

発行日
2026. 3. 6

J R 東労組バス関東本部

ベースアップを十分に上げるとは

ベースアップ（ベア）とは、企業が従業員に支払う基本給そのものを恒常的に引き上げることを指します。賞与や一時金の増額とは異なり、毎月の給与水準が底上げされるため、労働者の生活水準や将来の安定に直接影響する。特に物価上昇が続く局面では、実質賃金の低下を防ぐためにベースアップが重要な役割を果たすわけです。

ベースアップが必要とされる背景には、物価上昇・人材確保・生産性向上の好循環といった要素があります。物価が上がれば生活費も増えるので、賃金が据え置かれれば実質的な生活水準は下がってしまいます。また、労働力人口が減少する中で優秀な人材を確保するには、企業は魅力的な賃金水準を提示する必要があります。さらに、賃金の引き上げは従業員のモチベーションや定着率を高め、生産性向上につながるという考え方が一般的です。

では、なぜベースアップには交渉が必要なのか。それは、賃金は企業の経営状況と密接に結びついており、労使双方の利害が一致しないためです。企業側は人件費の増加が利益を圧迫することを懸念し、慎重な姿勢を取ります。一方、私たち労働者側は生活の安定や働きがいの向上を求めます。こうした立場の違いを調整し、双方が納得できる水準を見つけるために、労働組合と企業の間で交渉が行われるわけです。

労働者の立場

生活安定・将来不安の解消
賃金を上げてほしい



----- (利害調整) 双方が納得できる賃金水準を決めるプロセス

経営者の立場

人件費増は利益を圧迫
慎重に判断したい

春闘

J R バス 関東で働く仲間を一つに！